

2014-2015年度国際ロータリーテーマ／ロータリーに輝きを

WEEKLY REPORT YAMAGATA CENTRAL

山形中央ロータリークラブ

CLUB NEWS

Weekly report



クラブ会報

**vol.
1000**
2014・2015
MEETING

国際ロータリー第2800地区 第5ブロック 山形中央ロータリークラブ「地域、世界での友愛の実現とロータリアンであることの意義を考えよう」

〒990-0031 山形市十日町1-1-26 歌懸稻荷神社社務所ビル2F TEL(023)632-7777 FAX(023)624-5200

例会 毎週火曜日12:30~13:30(但し第5週は18:30~) 会場 ホテルメトロポリタン山形

■会長	長三浦 龍夫	■職業奉仕	石山 徳昭
■会長エレクト	丹野 秀樹	■社会奉仕	武田 耕一
■副会長	小泉 俊哉	■青少年奉仕	玉ノ井憲史
■直前会長	板垣喜代志	■国際奉仕	鈴木 和善
■クラブ管理運営	川合 勝芳	■幹事	小林 敏郎

■副幹事長	谷川 淳
■会計長	谷川 淳
S A A	坂川 好則

国際ロータリー会長 ゲイリー・C.K.ホアン(台湾台北)
第2800地区ガバナー 池田 徳博(鶴岡西)
第5ブロックガバナー補佐 庄司 武彦(山形東)

◆日時／2014.10.14 12:30 ◆例会場／メトロポリタン山形 ◆ソング／奉仕の理想



会長挨拶



台風19号が山形を通過しましたが、大した被害もなく安堵しておりますが、被害に遭われた地域の皆様にはお悔やみ申し上げます。

さて、今日は、1000回例会です。今年度のロータリーのテーマは、ライトアップロータリーで「ロータリーに輝きを」ですから、例会にも輝きをもたらせることが必要です。また、中央ロータリーの今年のテーマに「例会の充実、感動する例会、感動を与える例会」を目的としていま

す。今日の例会も皆さん大いに感動してください。

中央ロータリーは、今年で創立22年目になります。22年目で1000回例会ですから、次の2000回例会のときは、現クラブ会員のだいたいの人は在籍しているかどうかわかりませんね。自分もどうかわかりません。思うにそれだけ1000回例会は貴重なものです。

本日の「1000回例会を祝おう」について、武田実行委員長、長橋親睦委員長はじめ親睦委員の皆さんに感謝申し上げます。今日は、ご出席の皆様大いに最後まで楽しんでご歓談ください。

山形中央ロータリークラブ1000回記念例会

1000回例会を祝おう

コンテンポラリー・創作ダンス 月読命(ツクヨミノミコト)

加藤由美

ダンサー・振付家

ダンススペース主宰(山形市七日町)
幼少よりクラシックバレエを吉川洋子に師事
ジャズダンスをニューヨークで学び、コンテンポラリーダンスを振付。自らも踊る。
2006年 コロラド州(米)、2008年 グランドキャニオン(米)、2010年 メテオラ(ギリシャ)、2013年 アヴィニヨン(仏)で公演を行う。現在も心とからだの表現の多様性を研究し、ダンス作品をつくり続けています。

東北芸術工科大学 身体表現講師
山形中央高等学校 体育科 ダンス講師
東北文教大学附属幼稚園 ジャズダンス講師
【山形市在住】

佐藤カズヲ

ダンサー・アトリエ主宰

ダンススペース所属
加藤由美先生に師事
幼少の頃から武術、スポーツに触れる。
【山形市在住】

本日出席・修正出席

	会員総数	出席義務出席数	出席会員数	出席率
本日出席	42名	—	27名	—
修正出席	42名	42名	33名	78.57%
他クラブでマークアップされた会員				





近隣クラブ例会案内

月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
山形西 大沼パート 中 山 ひまわり館 天 童 西 ホテル王将 山形イブニング パレスグランデール	山形南 ホテルキャッスル 山辺 料亭さ津き 寒河江さくらんぼ ホテルシンフォニー	山形 山形グランドホテル 上 山 月岡ホテル 天童 東 天童ホテル	山形 北 山形グランドホテル 寒河江 グランデール寒河江	山形東 ホテルキャッスル 天童 渥の湯

※欠席したらマークアップ、マークアップしたら出席委員長までご連絡下さい。

2014-2015年度国際ロータリーテーマ／ロータリーに輝きを

WEEKLY REPORT YAMAGATA CENTRAL

山形中央ロータリークラブ

CLUB NEWS

Weekly report



クラブ会報

**vol.
1001**
2014・2015
MEETING

国際ロータリー第2800地区 第5ブロック 山形中央ロータリークラブ「地域、世界での友愛の実現とロータリアンであることの意義を考えよう」

〒990-0031 山形市十日町1-1-26 歌懸稻荷神社社務所ビル2F TEL(023)632-7777 FAX(023)624-5200

例会 毎週火曜日12:30~13:30(但し第5週は18:30~) 会場 ホテルメトロポリタン山形

■会長 長三浦 龍夫	■職業奉仕 石山 徳昭	■副幹事長 谷川 淳
■会長エレクト 丹野 秀樹	■社会奉仕 武田 耕一	■会計長 谷川 淳
■副会長 小泉 俊哉	■青少年奉仕 玉ノ井憲史	■S A A 坂川 好則
■直前会長 板垣 喜代志	■国際奉仕 鈴木 和善	国際ロータリー会長 ゲイリー・C.K.ホアン(台湾台北) 第2800地区ガバナー 池田 徳博(鶴岡西) 第5ブロックガバナー補佐 庄司 武彦(山形東)
■クラブ管理運営 川合 勝芳	■幹事 小林 敏郎	

◆日時／2014.10.21 12:30 ◆例会場／メトロポリタン山形 ◆ソング／それでこそロータリー



会長挨拶



本日のお客様をご紹介します。戸田書店山形店店長の笠原祐介さんです。後でゲスト卓話をよろしくお願いいたします。

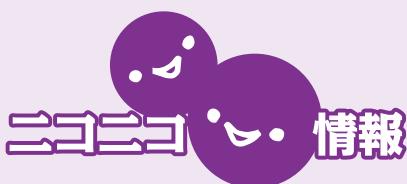
さて、先週は1000回例会に多くの会員に出席してもらい大変有難うございました。おかげ様で盛会の内に終わることができました。

19日の日曜日は、市内フロータリーの親善ゴルフ大会があり、中央ロータリーの成績はもう少しでした。参加された会員の皆さんにお疲れ様でした。

今週の土曜日は、鶴岡で地区大会がありますので出席予定の会員の方はよろしくお願い申し上げます。

さて、今月のロータリーは、職業奉仕月間なので職業に関する話題をします。先週新聞を読んでおりました

ら、なかなか良い記事がありましたのでご紹介したいと思います。それは、早くに父を病氣で亡くし、母子家庭で育った小学5年の少年が新聞を読みたいと思い新聞配達をした40軒くらいの配達先に老夫婦の家がありました。老主人が読み終わった新聞を少年に読ませてくれたそうです。しばらくして、老主人が亡くなり残ったおばあちゃんが引き続き新聞をとってくれ少年に読ませてくれました。そのおばあちゃんが亡くなり、中学3年生になった少年はお葬式に参列しておばあちゃんは字が読めないことを初めて知ることとなり、少年は涙しました。この少年は後に島根県の元出雲市長、衆議院議員の岩國哲人氏でした。新聞週間に本人が投稿して奥さんも初めて知ったとのことです。岩國氏の少年時代の土台となつたことは確かであるようです。



三浦龍夫・小林敏郎／先週は1000回例会に参加頂きましてありがとうございました。また、本日は笠原さん卓話ありがとうございました。

奥山 宏／笠原さん卓話ありがとうございました。これからのお活躍を御期待します。

本日出席・修正出席

	会員総数	出席義務出席数	出席会員数	出席率
本日出席	42名	—	21名	—
修正出席	42名	40名	30名	75.0%
他クラブでマークアップされた会員	(7RCゴルフ) 三浦龍夫 長谷川淳 佐藤吉信 鹿野淳一 川合勝芳 海谷靖夫 今野久仁正 奥山 宏 金子将人 玉ノ井憲史 (山形) 武田耕一 金子昌弘			



ゲスト卓話 怪談店長 山形の怪談について語る

戸田書店 山形店 店長 笠原裕介氏

私は山形市嶋の戸田書店山形店で2007年より店長として勤務しております。書店では季節ごとに様々なブックフェアを開催しますが、当店で特に力を入れているものに毎年夏に行う怪談関連の企画があります。もともとは、私が小さい頃より怪談が好きであったということもあり、児童書や昨今ブームの怪談実話と呼ばれるジャンルの書籍を他の書店よりも少し多く揃えている程度でしたが、近年は文芸評論家の東雅夫先生や山形在住の作家黒木あるじ先生のトークショーなど、怪談関連の店内イベントも開催しており、毎回多くのお客様にお越しいただいております。

このようにブックフェアのみならずイベント開催など特に怪談にこだわるようになったきっかけとして、2010年に仙台市に拠点を置く出版社の有限会社荒蝦夷が中心となり企画された「みちのく怪談プロジェクト」があります。この企画では柳田国男『遠野物語』刊行100周年に際して、東北地方の怪談文学作品の再評価や発掘などを目的に、関連書籍の刊行や、怪談作品のコンテストなど様々な催しが行われました。私もこの動きに大いに賛同し、店頭で関連書籍の拡販などを行いました。現在、店内イベントに出演して下さる先生方とはこの時ご縁ができました。また、私はこの企画を通じて、地域にまつわる怪談の魅力を再確認できました。

地域や場所にまつわる怪談には、かつてその土地

で起きた出来事や、そこで生きてきた人々の考えたことが反映されています。怪談を語るということは、それらをも同時に語り継いでいるといえるかもしれません。例えば現代の沖縄で語られる怪談には、戦争の犠牲者の幽霊と遭遇する話が多く見受けられ、そこにはかつての悲劇が風化されずに息づいています。私たちの住む山形に目を向けてみると、怪談とは少し違うかもしれませんが即身仏や、未婚の死者の婚礼を描いたムカサリ絵馬など他の地域の方々の目には奇妙にも見えるかもしれない伝承や風習が数多く存在します。東北地方は、圧政や厳しい気候などに苦しめられてきた人々が、そこで生き抜くために超自然的なものの力を借りようと信仰や風習を生み出してきた土地であり、そのため怪談話の類も多く存在するといわれています。これは、怪談が身近に存在し、それが抵抗なく受け入れられやすい場所であるということだと思います。

最後に東日本大震災の被災地で語られているという怪談を紹介します。被災地では震災で犠牲になった家族や知人の姿を見たり、気配を感じたといった話が多く語られているそうです。しかし、それらの話からは恐怖は感じられません。怪談には、死者と遭遇し恐怖する話だけではなく、死者ともう一度会いたいという願いを込めて語られる話もあるのだと思います。

近隣クラブ例会案内

月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
山形西 大沼デパート	山形南 ホテルキャッスル	山形 山形グランドホテル	山形北 山形グランドホテル	山形東 ホテルキャッスル
中山 ひまわり館	山辺 料亭さ津き	上山 月岡ホテル	寒河江 グランデール寒河江	天童 渥の湯
天童西 ホテル王将	寒河江さくらんぼ ホテルシンフォニー	天童東 天童ホテル		
山形イブニング パレスグランデール				

※欠席したらマークアップ、マークアップしたら出席委員長までご連絡下さい。